

福島の子ども達を米沢の遊び場へ！送迎バスを定期運行したい



福島から片道 50km の米沢市で、子どもが自然の中で自由に走り回って思いっきり楽しめる「遊び場」づくりをしています！

はじめまして！NPO 法人青空保育だけの子代表辺見妙子と申します。福島生まれの福島育ちです。「自然の中で幼児期に大切な五感を磨き生きる力を育む保育がしたい」と、2009年に仲間と一緒に団体を立ち上げました。震災以降、自然の中での遊びを制限されている福島の子どもたちはコスモスやススキさえ知りません。そこで2011年から福島の子ども達を連れて、福島市から片道 50km の米沢市へ通い外遊び支援を始めました。福島市から遊び場まで無料送迎バスを走らせています。震災から5年経ちましたが、子ども達がなんの制限も受けずに、自由に遊び、情動を育て、自尊感情を育めるような遊び場がこれからも必要です。

3.11 以降、福島でわたしたちは活動場所を失いました。

3.11 以降放射能の影響により福島県内での外遊びは著しく制限され、わたしたちは活動場所を失いました。そこで、隣県山形県米沢市に通って、日常的に保育を行う、という選択をしています。福島市内の公園は、除染が進んでいるとはいえ、まだまだ、安心して子ども達があそべる環境にはないとわたしは思っています。ましてや、除染が行われていない野山で遊ぶことは不可能です。

「冒険心（いたずら心）全開！子どもの遊びは『AKB』！」静岡県冒険遊び場たごっこパーク主催 NPO 法人ゆめ・まち・ねっと代表の渡部達也さんの言葉です。「あぶない」「きたない」「ばかばかしい」のが子どもの遊び。既成の遊具や室内遊び場がいくら整っていても、それを体験するのは難しいです。



（震災以降、福島市内にできた室内遊び場に設置されたガラス張りの砂場）

NPO 法人 青空保育たけの子

～制限なしに自由に遊び、情動を育てられる遊び場を創りたい～



青少年の自死が多い、そんな奇妙な国日本。子どもたちの遊びは都会化・機械化され、からだを思いっきり使ったり、遊びを創り出すことができなくなりました。自分はこの世にたったひとりしかいない大切な存在なのだという自尊感情を育てるには、子ども達がなんの制限も受けずに、自由に遊び、情動を育てられるような遊び場が必要だと感じ、2009年に仲間と一緒に団体を立ちあげました。そして、震災以降、2013年に、「青空保育たけの子」はNPO団体を設立し、現在も子どもたちへの遊び場作りをするために活動をしています。

【開催場所】山形県米沢市上新田 1166 冒険遊び場あそべんちゃーランド

【開催期間・開催頻度】通年・毎週土日開催

【対象人数】毎回 20 名程度

【支援金額使途内訳】バス運行費（ガソリン代、バス借用料、運転謝礼）、プレーリーダー人件費/(月 12 万円)

NPO 法人青空保育たけの子代表 辺見妙子

Tel 070-1143-1166 (事務局) <http://www.takenoko-aozora.org>

振り込み口座 ゆうちょ銀行 02240-1-118548

口座名義 特非) 青空保育たけの子

<p>¥1000 以上の支援で受取る引換券</p> <p>◆福島市在住の絵手紙インストラクター寺島良子さんの絵手紙 1 枚</p>	<p>¥3,000 の支援で受取る引換券</p> <p>◆サンクスレター (子どもの笑顔の写真 1 枚)</p> <p>◆ホームページや Facebook でお名前の掲載 (任意)</p>
<p>¥10,000 の支援で受取る引換券</p> <p>3,000 円の引換券に加えて、</p> <p>◆福島市在住の絵手紙インストラクター寺島良子さんの絵手紙 5 枚セット</p> <p>◆たけの子特製味噌 (100 グラム) をお送りします。</p>	<p>¥30,000 の支援で受取る引換券</p> <p>10,000 円の引換券に加えて、</p> <p>◆「たけの子見学ツアー1泊2日」招待券をお送りします。</p>

ご協力いただける引換券 ¥

お名前

ご住所

お電話番号

メールアドレス